

港中だより

伊勢市立港中学校 No.15

R3. 10. 15

校長 金森 晃生

令和3年度 前期終了!!

本日（15日）、前期の教育課程が終了しました。昨年同様、新型コロナウイルスの影響で、中止や延期や内容変更など、教育活動が大きく変わりました。本日の前期終業式も、予定では8日でした。他にも、4月に行われるはずの修学旅行は、11月（予定）になり、1,2年生の校外学習は中止になりました。定期テスト、運動会の延期などがありました。部活動についても、公式戦がなくなったり、活動が約1か月停止になったりしました。さらに、9月は臨時休校になり、初めてオンライン授業を行いました。命や健康を守りながら、学習を進めるためには有効な手段の一つとなりました。ただ、オンライン授業ですべての学習ができるわけではなく、いくつかの課題も見つかりました。今後、オンライン授業が活用されるときは、その課題を解決しながら、さらに充実した内容になるよう努力したいと思います。また、オンライン授業が行われたことに関連して、1人1台端末（タブレット）を使用することになりました。現在、学校に持参し、授業で使用し、家に持ち帰り、家庭学習や課題に取り組んでいます。これからは、タブレットを使用した自習課題も多く提供される予定です。得意な分野、苦手な分野、それぞれ各自が家庭学習に利用し、しっかり取り組んで下さい。課題が提供され次第、随時、みなさんには伝えます。ただ、タブレットについては、貸し出しの目的や、使用の仕方など決められた使い方をするようにしてください。せっかくのタブレットです。有効活用してください。

18日から後期の教育課程が始まります。後期についても、命と健康を守るために、まずは感染症予防対策をしっかり行ってください。特に3年生においては、これからの進路決定に大きくかわかる、後期中間テスト。期間は短くなりましたが、中学校の思い出となる修学旅行が控えています。まずは健康管理を行ってください。そして、いよいよ12月からは、高校入試が始まります。授業時間を確保し、オンライン授業分の学習の定着も必要になります。さらに、前期に活動が制限された分、後期には様々な事が、凝縮して行われます。大変あわただしい後期になりますが、焦ることなく、やるべきことはきちんと行い、自分の進路に向けて努力してください。学校としても、これまで通りすべて行うのではなく、精選しながら、教育活動を行っていきます。

今日の終業式で次のようなことを話しました。1つ目は「学習」に関することです。2つ目は「思いやりの心」についてです。

「学習」は、後期に生かす学習について話しました。本日、前期の学習の取り組みを評価した「通知表」を渡しました。評価は5段階（数字の5から1）の評定と①A B ②Cの5段階に分かれた観点別評価があります。評定は各観点別評価を総合したものです。観点別評価はそれぞれの観点（例えば、知識・技能など）を評価したものです。昨年までは、4ないし5つの観点項目がありましたが、今年度からすべての教科が3観点になりました。評定をよくするには、観点別評価をより①Aに近づけることです。そのためには、5月末にみなさんに配布した、各教科の「学習の進め方」をしっかり読んでください。その中に、どのような授業（教科書の単元など）をいつ（臨時休校により変更しています）行うのか、どのようなことを評価しているのか（それぞれの観点で大切にしてほしいこと）が記されています。今回の通知表と見比べて、前期頑張ったところ、これから努力が必要なところを確認して後期の学習につなげてください。評価についてわからないことがあれば、教科の担当の先生に相談してください。ただ、基本は授業です。授業に集中し、目標を持ってしっかり学習に取り組みましょう。

「思いやりの心」については、みなさん意識してくださいと話しました。これまでも「思いやりの心」については話をしてきましたが、今年度はみなさんが集まる機会が少なく、私から話す機会がほとんどありません。コロナ禍の中、今こそ、相手のことを考える、相手の立場に立ってみる、自分に置き換えることが必要です。今は新型コロナウイルスの新規感染者が減少しています。しかし、ウイルスが消滅したわけではなく、いつまた感染が拡大するかもわかりません。マスク着用をせず会話をしたり、給食の時しゃべったりしているなど、感染予防対策をとっていないと、周りの人が嫌な思いをしているかもわかりません。思いやりの心は、感染症のことだけではありません。みなさんの中にも、知らぬ間にSNSに悪口を書かれたり、デマを流されたりしたことはありませんか。あるいは、人の悪口を書き込んだり、無視したりするようなことはありませんか。自分が嫌なことは他の人も嫌だと感じる人が多いのではないのでしょうか。相手の気持ちを考え、「思いやる気持ち」を持てば、きっとそんなことはなくなると思います。みんなが嫌な気持ちを持たずに生活できると思います。私は『思いやりの心を持って、みんなが安心して楽しく登校できる学校』を目指しています。ぜひこれからも今以上に「思いやりの心」を意識して行動してほしいと思います。

後期も一人ひとりが、学習や生活や部活動などいろいろなことに目標を持ち、達成できるように計画を立て実行してください。みなさんのさらなる向上心と努力を、大いに期待しています。

◎令和3年度 伊勢市立小中学校科学創作展

昨年度に引き続き、感染症予防対策として、展示作品を見ることはできません。そのため、インターネットで作品をご覧いただくことができます。



10月15日(土)～24日(日) アクセス先 kasouten.net

また、港中からの出品作品は以下の作品です。

- | | | |
|-----|----------------------------------|----------------------------|
| 2年生 | 磯田菜々音 「本当の美とは」 | 藤原芯樹 「摩擦の仕組み」 |
| | 練尾祐太 「酸素が発生するものは？」 | 森本悠介 「液体の表面張力とアメンボ」 |
| | 嶋本麻白 「ミジンコの研究」 | |
| | 北川美羽 「四つ葉のクローバーは遺伝してできる？」 | |
| | 木村美友 「ベーキングパウダーの量と膨らみ方」 | |
| | 野口遥翔 「フォーポットヨーグルトの蓋の裏」 | |
| | 中村楓菜 「ペットボトルを冷たい状態に保つ方法」 | |
| 1年生 | 大西昇汰 「鶏の卵を孵化させる」 | 鈴木 真 「電球の発光と熱効率の関係」 |
| | 金森伊智也 「打ち水の効果」 | 畑 楽海 「入浜式塩田に見るSDGs」 |
| | 井坂怜央 「オスグッド・シュラッター病について」 | |
| | 中川新太 「家の周りに生えた雑草について」 | |
| | 河口琉音 「音の形」 | 竹内 照 「気化熱と吸着熱」 |
| | 出口一稀 「乳化と分離」 | |



～保護者のみなさまへ～

日頃は本校の教育活動にご理解、ご協力をいただき、また、各ご家庭でも検温、マスクの着用等、感染症予防対策にご協力いただきありがとうございます。引き続き、お願いいたします。

9月の臨時休校を受けて、前期が一週間遅れで終了しました。今年度から、通知表の評価が変わりました。表面に少し詳しく書きましたが、後期の参考にしてほしいと思います。

□■□■ お知らせ □■□■

「ピースメッセンジャー」広島平和事業にかかわる、生徒の感想や、千羽鶴のパネルなどを現在、以下のように展示しています。機会があればぜひご覧ください。

10月7日(木)～28日(木) 伊勢市役所1階市民ホール